

# ●グローバル・ラップ（北米株式ファンド）

（マザーファンドの投資一任先：ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー）

（データは2018年7月31日現在）

【純資産総額】 1.04億円

【基準価額】 17,334円

【決算日】 原則3月25日

【償還日】 2018年8月30日

【設定日】 1998年5月29日

## ＜分配金込み基準価額のパフォーマンス＞

	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
当ファンド	6.96%	3.74%	15.64%	15.29%	75.29%
ベンチマーク	7.10%	2.31%	15.81%	25.02%	195.93%

※基準価額の騰落率およびグラフのデータは分配金（税引前）を再投資し計算しています。

＜運用担当者のコメント＞ ※運用方針等は作成基準日現在のものであり、将来の市場環境の変動等により変更される場合があります。

### ＜当月の運用状況＞

7月の北米株式市場は、前月末比で上昇しました。月初の北米株式市場は、米国・中国間の制裁関税発動を控え、様子見ムードで始まりました。6日には予定通り米中が互いに関税を発動したものの、市場では織り込み済みと受け止められ、北米株式市場への影響は限定的でした。その後、4-6月期の米国主要企業の好決算を手がかりに買いが入った一方で、貿易摩擦拡大への懸念から月半ばには上値が抑えられる展開が続きました。しかし、25日にトランプ大統領がEUとの間で貿易戦争回避に向けた譲歩を引き出すと、資本財・サービス関連などを中心に買われました。また、長期金利上昇が金融関連の株価上昇を後押ししました。月末にかけて、IT企業の冴えない業績見通しを受けて北米株式市場はやや下落したものの、前月の水準を上回って月を終えました。

7月の当ファンドのパフォーマンスは、ベンチマークを下回りました。業種別では、一般消費財・サービス関連や資本財・サービス関連などがパフォーマンスにプラスに寄与した一方、金融関連や情報技術関連などはマイナスに影響しました。

### ＜今後の運用方針＞

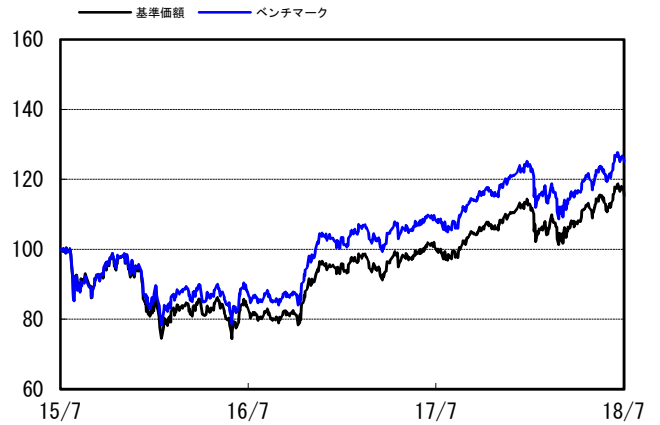
直近の株式市場は、世界的な貿易摩擦への警戒感に覆われており、米国と他国との交渉の行方に注目が集まっています。グローバルな供給網や販売市場に支えられている現在の経済成長が行き詰まれば、企業による投資や個人消費が鈍化することも考えられます。

しかし、経済活動を分析すると、現在のところ多くの企業は貿易戦争の可能性に委縮することなく投資を続けていると見られます。企業のM&A活動は活発で、小売売上高も堅調です。世界的な経済成長を阻害し、米国の優位性を弱めるような政策はトランプ政権にとってもプラスにならないことから、各国との交渉を通じて打開策が探られると考えます。

また、米国の企業業績は引き続き堅調で、税制改革の効果もこれから浸透していくと見られることから、長期金利の上昇局面においても、企業収益の拡大を背景に株式市場には引き続き上昇余地があるという見通しを維持しています。特にヘルスケアとテクノロジー企業の長期的な成長に着目しています。

市場では貿易摩擦に注目が集まり、変動の要因になっています。当ファンドでは、貿易摩擦の動向に留意する一方で、個別企業の調査・分析に基づき、成長性が高くバリュエーションが魅力的な銘柄の選定を重視し、リスク調整後リターンを獲得を目指す方針です。

## ＜分配金込み基準価額の指数化グラフ＞ （2015年7月31日を100として指数化）



※ベンチマークは、MSCI北米インデックスをもとに円換算したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。  
※基準価額は、信託報酬（後述の「手数料等の概要」参照）控除後の値です。

## ＜分配金実績（税引前）＞（円）

14/3/25	15/3/25	16/3/25	17/3/27	18/3/26
30	30	30	30	30

## ＜資産構成比＞

株式	96.8%
うち先物	0.0%
CB	0.0%
公社債	0.0%
現金その他	3.2%

## ＜株式組入上位10銘柄＞（銘柄数 89銘柄）

銘柄	通貨	業種	比率
1 ALPHABET INC-CL C	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	4.71%
2 AMAZON.COM INC	アメリカドル	小売	3.36%
3 JPMORGAN CHASE & CO	アメリカドル	銀行	2.39%
4 MASTERCARD INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.24%
5 VISA INC-CLASS A SHARES	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	2.15%
6 ALTRIA GROUP INC	アメリカドル	食品・飲料・タバコ	2.08%
7 COCA-COLA CO/THE	アメリカドル	食品・飲料・タバコ	2.08%
8 ADOBE SYSTEMS INC	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.87%
9 APPLE INC	アメリカドル	テクノロジー・ハードウェア	1.78%
10 MICROSOFT CORP	アメリカドル	ソフトウェア・サービス	1.75%

※「国別上位投資比率」「株式組入上位10銘柄」は、マザーファンドの状況です。  
※「資産構成比」「国別上位投資比率」「株式組入上位10銘柄」の比率は対純資産総額です。  
※「分配金実績」の分配金は、1万口当たりの実績です。  
※当レポート中の各数値は四捨五入して表示している場合がありますので、それを用いて計算すると誤差が生じることがあります。  
※当レポートのグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

## ＜国別上位投資比率＞

国別	比率
1 アメリカ	92.4%
2 カナダ	3.3%
3 ジャージー	1.0%
4 イギリス	0.8%
5 オランダ	0.6%
6 シンガポール	0.5%
7 アイルランド	0.5%
8	
9	
10	

投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産は為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。後述のリスク情報とその他の留意事項をよくお読みください。

■当資料は、投資者の皆様にご理解を深めていただくことを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。掲載されている見解は、当資料作成時点のものであり、将来の市場環境や運用成果などを保証するものではありません。

2018年7月31日現在

## ■お申込メモ

- 商品分類 : 追加型投信／海外／株式  
ご購入単位 : 購入単位につきましては、販売会社または委託会社の照会先にお問い合わせください。  
ご購入価額 : 購入申込受付日の翌営業日の基準価額  
ご購入不可日 : 販売会社が営業日であっても、購入申込日が以下に該当する場合は、購入のお申込み（スイッチングを含みます。）の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
・ニューヨーク証券取引所の休業日  
信託期間 : 2018年8月30日まで（1998年5月29日設定）  
決算日 : 毎年3月25日（休業日の場合は翌営業日）  
収益分配 : 毎決算時に、分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向などを勘案して決定します。  
ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。  
※将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。  
ご換金価額 : 換金請求受付日の翌営業日の基準価額  
ご換金不可日 : 販売会社の営業日であっても、換金請求日が以下に該当する場合は、換金請求（スイッチングを含みます。）の受付は行ないません。詳しくは、販売会社にお問い合わせください。  
・ニューヨーク証券取引所の休業日および換金請求日から当該請求にかかる換金代金の支払開始日までの期間中（換金請求日および換金代金の支払開始日を除きます。）の全日がニューヨーク証券取引所の休業日に当たる場合  
ご換金代金のお支払い : 原則として、換金請求受付日から起算して5営業日目からお支払いします。  
課税関係 : 原則として、分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の差益は課税の対象となります。  
※課税上は、株式投資信託として取り扱われます。  
※配当控除の適用はありません。  
※益金不算入制度は適用されません。

## ■手数料等の概要

- ：お客様には、以下の費用をご負担いただきます。  
＜お申込時、ご換金時にご負担いただく費用＞  
・購入時手数料：購入時における購入時手数料はありません。  
・換金手数料：ありません。  
・信託財産留保額：ありません。  
・スイッチング手数料：ありません。  
＜信託財産で間接的にご負担いただく（ファンドから支払われる）費用＞  
・信託報酬：純資産総額に対して年率1.4256%（税抜1.32%）を乗じて得た額  
・その他費用：組入有価証券の売買委託手数料、監査費用、借入金の利息、立替金の利息など  
※その他費用については、運用状況により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。  
※当ファンドの手数料などの合計額については、投資者の皆様がファンドを保有される期間などに応じて異なりますので、表示することができません。  
※詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

## ■委託会社、その他関係法人

- 委託会社 : 日興アセットマネジメント株式会社  
投資顧問会社 : ジャナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー  
日興グローバルラップ株式会社  
日興アセットマネジメント アメリカズ・インク  
受託会社 : 野村信託銀行株式会社  
販売会社 : 販売会社については下記にお問い合わせください。  
日興アセットマネジメント株式会社  
〔ホームページ〕 <http://www.nikkoam.com/>  
〔コールセンター〕 0120-25-1404（午前9時～午後5時。土、日、祝・休日は除く。）

## ■お申込みに際しての留意事項

### ○リスク情報

投資者の皆様は投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者（受益者）の皆様へ帰属します。なお、当ファンドは預貯金とは異なります。

当ファンドは、主に株式を実質的な投資対象としますので、株式の価格の下落や、株式の発行体の財務状況や業績の悪化などの影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。また、外貨建資産に投資する場合には、為替の変動により損失を被ることがあります。

主なリスクは以下の通りです。

### 価格変動リスク

- ・株式の価格は、会社の成長性や収益性の企業情報および当該情報の変化に影響を受けて変動します。また、国内および海外の経済・政治情勢などの影響を受けて変動します。ファンドにおいては、株式の価格変動または流動性の予想外の変動があった場合、重大な損失が生じるリスクがあります。

### 流動性リスク

- ・市場規模や取引量が少ない状況においては、有価証券の取得、売却時の売買価格は取引量の大きさに影響を受け、市場実勢から期待できる価格どおりに取引できないリスク、評価価格どおりに売却できないリスク、あるいは、価格の高低に関わらず取引量が限られてしまうリスクがあり、その結果、不測の損失を被るリスクがあります。

## 信用リスク

- ・投資した企業の経営などに直接・間接を問わず重大な危機が生じた場合には、ファンドにも重大な損失が生じるリスクがあります。デフォルト（債務不履行）や企業倒産の懸念から、発行体の株式などの価格は大きく下落（価格がゼロになることもあります。）し、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

## 為替変動リスク

- ・外貨建資産については、一般に外国為替相場が当該資産の通貨に対して円高になった場合には、ファンドの基準価額が値下がりする要因となります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

## ○その他の留意事項

- ・当資料は、投資者の皆様にご理解を高めることを目的として、日興アセットマネジメントが作成した販売用資料です。
- ・当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- ・投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、銀行など登録金融機関で購入された場合、投資者保護基金の支払いの対象とはなりません。
- ・分配金は、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した運用収益を超えて支払われる場合があります。投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・投資信託の運用による損益は、すべて受益者の皆様に帰属します。当ファンドをお申込みの際には、投資信託説明書（交付目論見書）などを販売会社よりお渡ししますので、内容を必ずご確認ください。お客様ご自身でご判断ください。

設定・運用は **日興アセットマネジメント株式会社**  
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第368号  
 加入協会：一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 日本証券業協会

## 投資信託説明書（交付目論見書）のご請求・お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
SMBC日興証券株式会社	金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○